

石川の特産品をPR

きょう、あす 東京で販売

石川町の風評被害を打破しようと、同町や同町観光物産協会などは21、22の両日、東京都の県八重洲観光交流館で風評被害克服キャンペーン「トップランナーISHIKAWA」を行い、同町の農産物や物産を販売する。

キャンペーンに参加する
(左から) 酒井社長、吉田社長、大野さん、仲田社長



同町は東日本大震災の被害が比較的軽微で、放射線

量が同町役場で1時間当たり0.12マイクロシーベルト(19日現在)と低い。しかし、風評被害の影響が深刻なことから、同町の安全性をPRし、本県の復興をリードしようとキャンペーンを企画した。

今回は果樹専業農家大野寧さんが「日川白鳳桃」、お菓子のさかい(酒井秀樹社長)が「カリントまんじゅう」、仲田種苗園(仲田茂司社長)が「野の花マット」と「ハッピーツリー」、御光福園芸(吉田常一社長)がホウレンソウを出品する。いずれも県内外で人気の高い商品で、食品は試食もできる。

当日は会場内で酒井俊幸東洋大陸上部監督らの応援メッセージを展示するほか、「がんばっぺ石川!」と書かれた旗を飾る予定。

福 島 民 友

2011年(平成23年)7月21日(木曜日)